

今回は、第3号の「卒業後の生活」就労継続支援B型の説明で話題にした「就労アセスメント」で挙げてある項目は、就労継続支援B型だけでなく、**卒業後の生活を考えていくうえでも、お子さんにとって豊かな生活を考える大切な視点**となります。そこで、小学部段階からの積み重ねが大切な「生活面」と「コミュニケーション面」について紹介します。

生活面

【マナー】 伝え方や言葉づかい、ルールを守ることなど

【生活習慣】 生活リズムやみだしなみ、快不快・体調を伝えることなど

例えば、学校では・・・

○視線や身体の動き、手話、ひらがなボードなど、相手や場に応じて気持ちを伝える学習をしています。



○相手や状況に応じた伝え方を学習しています。

○朝の会では、担当する日付や天気、時間割などの発表をしています。



○「早寝、早起き、朝ご飯」が大事なことを学習します。

○朝の会の出席確認などで、体調の確認をしています。

○頭が痛いときや吸引が必要なときなど、伝え方を学習しています。



この他にも、いろいろな学習場面で、「生活面」に関する内容を学んでいます。

コミュニケーション面

【対人スキル】 あいさつや言葉掛けに応じた返事など

【意思表示】 自分の意思や気持ちを伝えること

例えば、学校では・・・

○指や口を動かしたり、手を重ねたり、声を出したり、手話やひらがなボードを使ったりするなど、それぞれのお子さんに応じたあいさつや返事を学習しています。



○言葉掛けに応じた返事・気持ちを伝えることを学習しています。



○自分なりの方法で自分の意思や気持ちを伝える学習をしています。

○いろいろな場面で「ありがとう」「ごめんなさい」を伝えることを大事にしています。



○自分なりの方法で困ったこと・難しいことを伝えることを大事にしています。



この他にも、いろいろな学習場面で、「コミュニケーション面」に関する内容を学んでいます。

「生活面」と「コミュニケーション面」は、特に大切な視点です。それぞれの視点を知ることで、「これはできるよ」「こういうこともできそうだな」など、現在の状態の把握、ねがいなどを考えるきっかけになります。学校では、それぞれのお子さんに応じた学習が行われています。

日々の積み重ねが現在・卒業後の豊かな生活につながります。

